

学校だより

1月号

重点目標 みんなでいっぽ

あいさつから始めよう! 「はじめのいっぽ」

皆様、令和8年となりました。

あけましておめでとうございます。

年末年始は晴天の日が多く、空気もピリッと引き締まっています。まさに関東地方のこの辺りの地域の冬です。

さて、3学期を迎え、暖くなる春を目指して、どの子どもも一日一日頑張ろうと思っていることでしょう。今年度の学校だよりでは、中央林間小学校で推進している「みんなで いっぽ」のプロジェクトの内容をお伝えしてきました。今回は4つのプロジェクトの中の最後の1つ「あいさつから始めよう! 『はじめのいっぽ』」の内容の具体的な取り組みをご紹介します。



「めざそうおどけい」の定着と振り返り

「めざそう おどけい」は、子どもの自治活動である児童会のスローガンです。①②は、「おおきなこえであいさつしよう」を意味します。「③」の学年とも仲よくしよう。④はじめをつけよう。⑤いいところをいっぱい見つけよう。」と続きます。

子どもたち一人一人は、かけがいのない存在です。私たち教職員は、子どもの真剣に物事に取り組む表情、笑っている表情に出会うと本当に嬉しいです。元気のない表情に出会うと「どうしたのかな、大丈夫だよ」と声をかけたくくなります。その一人一人の存在を大切に、まずは「あいさつ」で声をかけ、「元気かな」という気持ちを届けたいと毎日思っています。

学校は集団生活を送る場であり、小さな社会です。大人も社会の一員として挨拶が励行されています。挨拶ができると、ある目的を持った集団が生き生きとします。逆にしないと「あれっ」と思いませんか。学校は「おどけい」が推進できるよう、土壌を整えていきたいと思えます。(校長)

「ノートを開く」

GIGA スクールにより1人1台端末が整備されてから5年が経とうとしています。子どもも大人もICT機器を使う毎日です。

小学生は一昔前と変わらず、どの教科でもノートに文字を書いて学習しています。1ます、1行を大切に、漢字や数字などの文字を書くことは、内容の理解の一助となります。1ページに、その時間の学習内容を自分の力でまとめていくのです。授業の初めに「さあ、算数だ」など、ノートを開いて用意できると気持ちも前向きになります。

